

令和3年3月度・新型コロナウイルス定点アンケート集計結果【速報】

全正会員数	66 社
回答数	43 社
回答率	65.2 %

【回答率コメント】

回答率は前回10月度の63.6%とほぼ同程度

	回答数	全体割合
Q1 社外から受注50%以上	31 社	72.1 %
社内から受注50%以上	12 社	27.9 %

【Q1コメント】

「社外50%以上」の回答は前回10月度より12.6ポイント(6社)増加し「社内50%以上」は12.6ポイント(5社)減少

Q2 貴事業所の令和2年4月から令和3年3月末見込みの景況は前年度に比べていかがでしたか？

20%以上増加	0 社	0.0 %	
10%以上増加	2 社	4.7 %	(コロナ影響0社)
あまり変わらない(10%までの増減)	31 社	72.1 %	
10%以上減少	7 社	16.3 %	(コロナ影響4社)
20%以上減少	3 社	7.0 %	(コロナ影響2社)

Q3 Q2において「増加した」又は「減少した」と回答された新型コロナの影響(要因)についてお尋ねします。

新型コロナが要因で増加	0 社	0.0 %
新型コロナが要因で減少	6 社	14.0 %

【Q2・Q3コメント】

前回の令和2年4月分から9月分から「増加」、「変わらない」、「減少」のそれぞれの割合はほぼ同程度で、新型コロナの影響で売上等減の事業所の割合は9.8ポイント減少

Q4 貴事業所の次年度の景況見込みは、今年度に比べてどうなるとお考えですか？

良くなる	3 件	7.0 %
変わらない	29 件	67.4 %
悪くなる	11 件	25.6 %

【Q4コメント】

「変わらない」又は「悪くなる」が93.0%に達した

Q5 新型コロナの感染拡大防止又はその影響で現在も実施している対策・対応は何ですか？(複数回答可)

1 従業員や来訪者のマスク着用	43 件	100.0 %
2 換気の励行	40 件	93.0 %
3 消毒の徹底	39 件	90.7 %
4 Web会議の活用	33 件	76.7 %
5 飛沫防止パネル等の設置	32 件	74.4 %
6 従業員や来訪者の体温測定	28 件	65.1 %
7 出張又は移動・外出の制限	24 件	55.8 %
8 会議・ミーティングの制限	23 件	53.5 %
9 時差出勤	18 件	41.9 %
10 法令遵守	16 件	37.2 %
11 在宅勤務の実施	15 件	34.9 %
12 車通勤の社有車通勤の特別許可	15 件	34.9 %
13 来訪者の制限	11 件	25.6 %
14 接触確認アプリ(COCOA)の活用	5 件	11.6 %
15 交替勤務の実施	3 件	7.0 %
16 一時帰休・休業	3 件	7.0 %
17 出勤日数の短縮	2 件	4.7 %
18 必要に応じてPCR検査の実施	1 件	2.3 %
19 月に2回職員に対するPCR検査の実施	1 件	2.3 %
20 会食自粛	1 件	2.3 %
21 空気清浄機、CO2の設置	1 件	2.3 %

【Q5コメント】

・大半の対策項目で前回より実施割合が増加
 ・マスクの着用の実施率が初めて100%となった
 ・「出張又は移動・外出の制限」が前回より27.2ポイント増加し最大の上げ幅となった

Q6 新型コロナに関する愛環協への要望や意見、質問があればご記入ください。

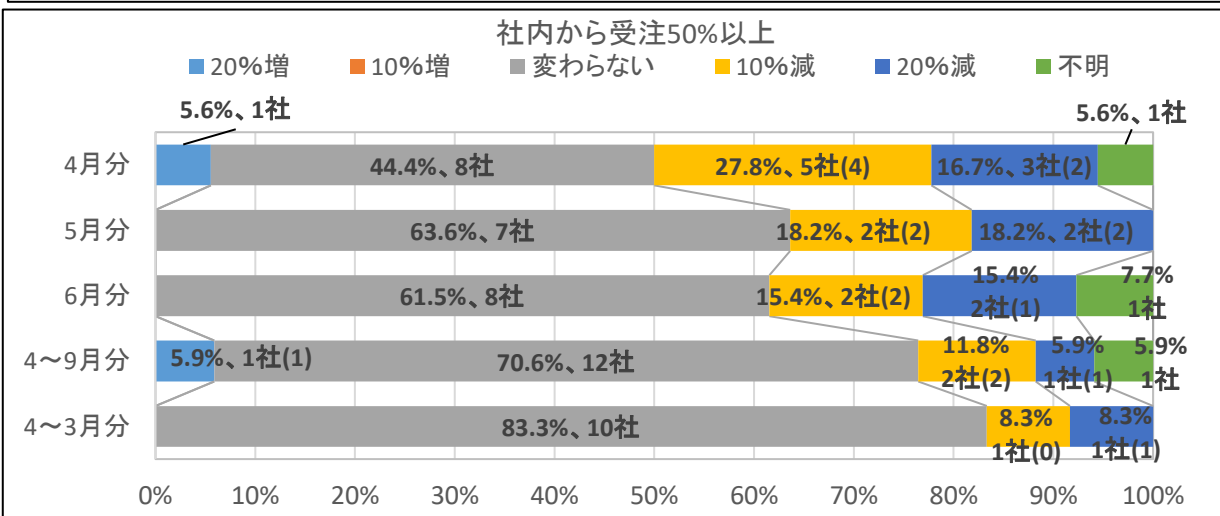
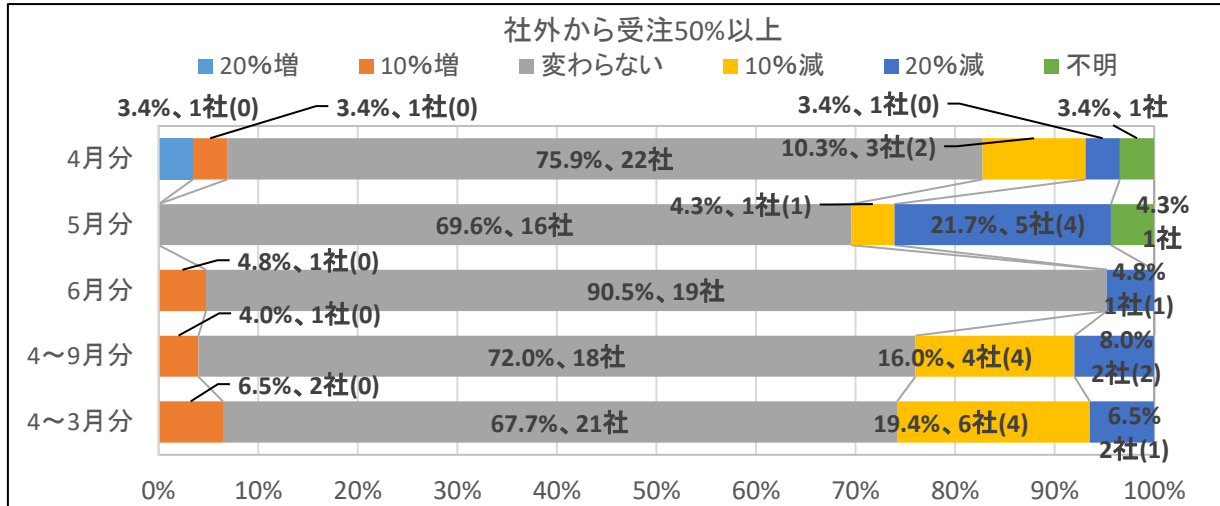
- ・引き続き現状のような情報提供をして頂けるとありがたい。
- ・新型コロナのワクチン接種に関する各会員の動向等は、情報として参考になるかと思えます。
- ・民間から官庁への報告(作業環境測定、事業所放流水、健康診断、など)が、コロナの影響で一部猶予されているものがあると聞きました。愛知県下でこういった情報があれば、開示いただけると、いいのではないのでしょうか。コロナ禍で無理にこれらの測定を行い、従業員の感染リスクを増やす

ことがあってはいけないと考えています。ご検討いただきますようお願いいたします。

- ・アンケートの回収率が50～60% 回答されない会社に特色・特徴(傾向)があれば教えてほしいです。
- ・研修会での懇親会がなくなり、情報や意見交換ができる場がなくなったので、オンラインでの技術者交流会等の機会を設けて欲しい。
- ・オンラインによる会議や研修会の開催など、引き続き、感染防止に配慮した事業の実施をお願いします。
- ・今年度はオンライン研修が主流でしたが弊社ではZoomが使用不可の為参加できておりません。教育資料の配布等ご検討いただけると幸いです。

＜参考＞Q2における事業所別の前年同月比売上又は受注・依頼件数の推移

グラフの()内の数字は新型コロナの影響で売上又は受注・依頼件数が増減した事業所数



【参考のコメント】

社外からの受注が過半数以上の事業所は、前回の4月から9月の6ヵ月間と今回の景況調査の1年間で概ね同程度の割合となった。一方、社内からの受注が過半数以上の事業所は、今回の回答数が減少したため参考程度の結果であるが、同様に前回と今回で概ね同程度の割合となった。

【まとめ】

・令和2年4月分から令和3年3月の1年間の売上又は受注・依頼件数は前年度と比較すると、「増加」又は「変わらない」と回答した事業所が75%以上となった。新型コロナの影響で売上等が減少した事業所は14.0%にとどまり、影響が限定的であった。
 ・次年度の景況見込みは「変わらない」又は「悪くなる」が93.0%に達し、厳しい予想となった。
 ・感染拡大防止対策について大半の項目で前回より実施割合が増加しており、多くの事業所で対策を継続又は強化している。
 ・感染拡大防止対策の「出張又は移動・外出の制限」が前回より大幅に増加した要因は1月から2月の愛知県を対象とした緊急事態宣言が影響したと考えられる。